

4 水源地を通じた社会とのコミュニケーション（水源の森 コミュニケーション）

水源地を通じて、より積極的に多様な主体とのコミュニケーションを図るとともに、水道水源林に関する情報発信を行い、親しまれる水源地を実現し、安全でおいしい水づくりへの理解につなげていきます。

都民

水源地を通じた都民とのコミュニケーション

水道水源林内に整備した散策路「水源地ふれあいのみち」で「水源林ツアー」を開催しています。

このイベントでは、職員の案内で実際に水道水源林を散策し、森と水の関わりや水源地保全の大切さなどの理解を深めていただいています。

さらに、「東京水道 水源林寄附金」により、水源地保全への寄附金を募り、様々な方からご協力を頂いております。



水源林ツアー

ボランティア

ボランティアと協力した森づくり（多摩川水源森林隊）

多摩川上流域の手入れの行き届かない民有地の人工林を、緑豊かな森林に再生するために、ボランティアの方々の協力を得て森づくり活動に取り組んでいます。



企業

企業と連携した森づくり

「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」では、参画企業は協定エリアの森に名称をつけるとともに、森林保全作業体験などを行うことができます。

また、企業協賛金制度で頂いた協賛金は水道水源林の保全育成に活用していきます。



森林保全作業体験（植栽）

大学

水道水源林をフィールドとした調査研究

大学などの研究機関と連携して、水道水源林の持つ多面的機能の「見える化」の実現を図るなど、水道水源林をフィールドとした調査研究を実施しています。調査研究の成果は、今後の水道水源林のより良い管理にも活用していきます。

また、水源地保全の理解促進のため、大学生による森林保全作業体験も実施しています。



大学による調査研究



大学生の森林保全作業体験

地域社会

地域社会と連携した水源地のPR

水道水源林の管理には、地域との連携が不可欠です。このため、地元自治体が主催するイベント等に参加し、水道水源林のPRを行うとともに地域の方々との協力関係を深めています。



国内外

国内外に向けた水道水源林のPR

水源地や森林と関わる機会が少ない方々にも、水道水源林に対する理解を深めていただき、親しみを感じていただけるよう、多摩川水源サポーターを募集し、サポーターの方々にメールマガジンを送付し、水源地域の魅力を積極的に発信しています。

また、PRイベントの開催や間伐材を用いたオリジナルグッズの配布、海外からの視察の受入も行っています。



海外からの視察受入れ



間伐材を用いたグッズ

教育機関

環境学習への支援

小学校で行われる水源地や環境をテーマにした学習を支援するため、小学4年生を対象とした学習支援教材を作成し、希望する学校へ配布しています。

また、職員が直接学校へ赴いて、水道水源林に関する説明を行う水道教室を行い、水道水源林の役割や大切さを伝えています。

このほかに、中学生や高校生を対象とした水源地の森林保全作業体験も実施しています。



水道教室

